

第1回



地区の位置づけと現況について

中板橋駅周辺地区まちづくり協議会



1 地区の位置づけ

- ・ 地区の位置

- ・ 関連計画

2 地区の現況と特性

- ・ まちの歴史

- ・ 都市計画等

- ・ 人口・世帯数

- ・ 土地利用

- ・ 道路・交通

- ・ 公園・緑地

- ・ 社寺

- ・ 公共公益施設

- ・ 防災

1 地区の位置づけ



1 地区の位置

✓ 板橋区南部のほぼ中央に位置している



出典: 将来都市構造図(板橋区都市づくりビジョン)



2 関連計画の位置づけ

(1) 都市づくりビジョン

- ✓ 板橋区都市づくりビジョン（平成30年3月）において、中板橋駅周辺は「生活の拠点」に位置付けられている
- ✓ 中板橋駅を中心として、周辺の商店街の連続性や、河川軸に位置付けられている石神井川沿いの緑を活かした、にぎわいの軸の維持・形成をめざしている



2 踏切対策基本方針の位置づけ



2 関連計画の位置づけ

(2) 踏切対策基本方針

- ✓ 「踏切対策基本方針（東京都、平成16年6月）」では「中板橋駅付近」が「鉄道立体化以外の対策の検討対象区間」に位置付け（計2箇所の踏切）



（出典：「国土地理院地図」を基に図示）

2 地区の現況と特性



1 まちの歴史

- 時期不明 地区内に、畑や牧場が存在
- 1927年頃 中板橋駅が上板橋遊泉園の臨時駅として、夏季臨時営業
- 1933年 中板橋駅開業（常設化）
- 1934年 皇太子誕生記念に石神井川に桜を植樹
- 1958年 狩野川台風により石神井川が氾濫
- 1983年 石神井川緑道完成
- 2003年 板橋十景に石神井川の桜並木が選定



1 まちの歴史

石神井川



昭和2・3年頃

上板橋遊泉園

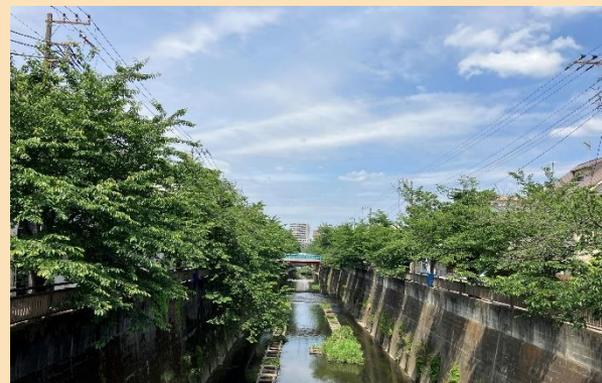
出典：板橋区HP



昭和33年

狩野川台風（中根橋）

出典：板橋区HP



石神井川

出典：現地調査（令和6年撮影）



石神井川の桜並木

出典：板橋区

2 地区の現況と特性



1 まちの歴史

中板橋駅



昭和8年

中板橋駅の開設祝賀会

出典：板橋区HP



昭和41年

中板橋駅

出典：板橋区HP



中板橋駅 北口

出典：現地調査（令和6年撮影）



中板橋駅 南口

出典：現地調査（令和6年撮影）



2 都市計画等

(1) 用途地域

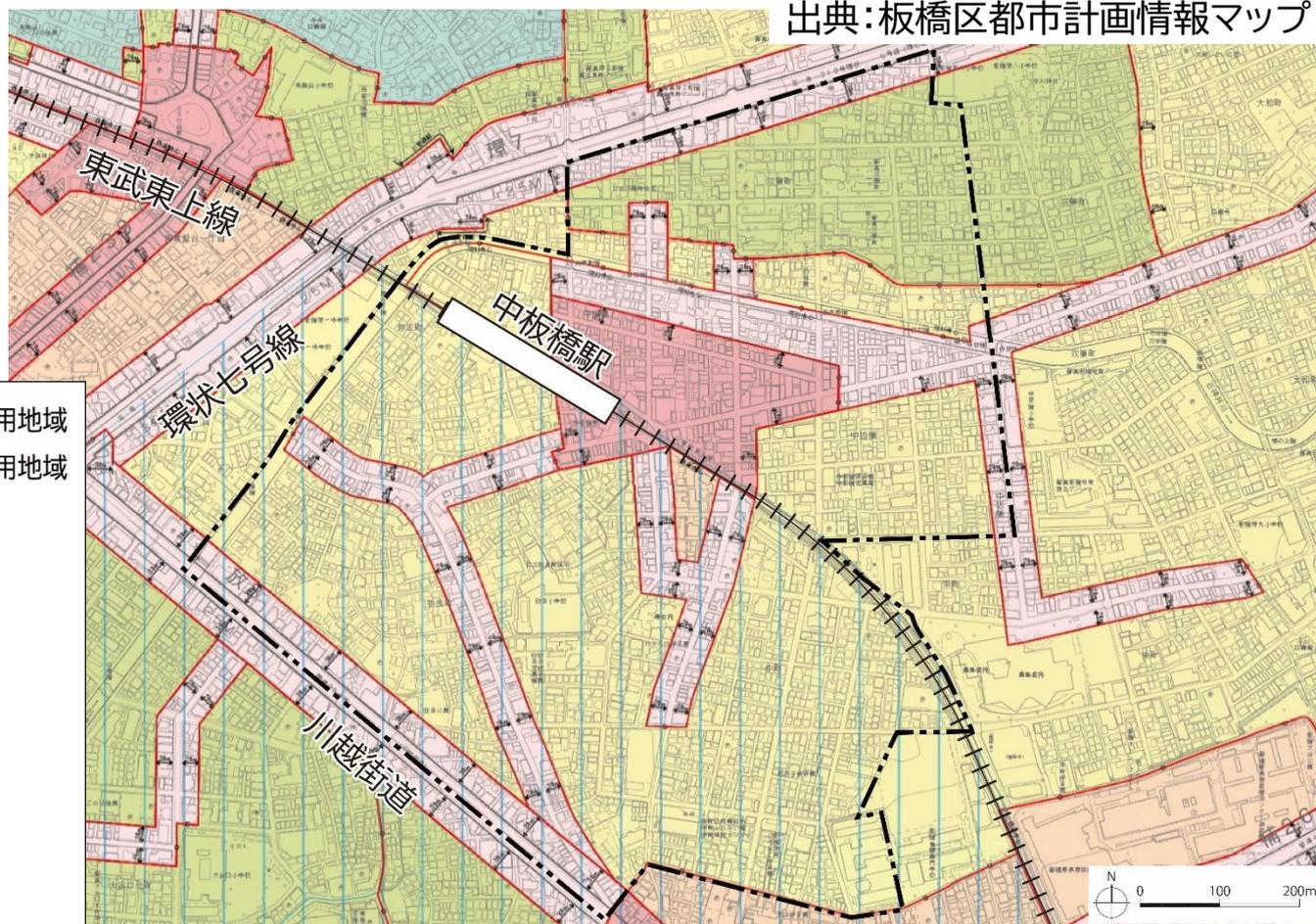
✓ 用途地域は**商業系（駅前・沿道）**と**住居系**に指定

用途地域とは：

種類の異なる土地利用が混ざらないよう、都市を住宅地、商業地、工業地などいくつかの種類に区分すること。

出典：板橋区都市計画情報マップ

	第一種低層住居専用地域
	第一種中層住居専用地域
	第一種住居地域
	第二種住居地域
	近隣商業地域
	商業地域
	準工業地域
	工業地域
	主な道路
	鉄道
	活動区域





2 都市計画等

(2) 都市計画道路

✓ 骨格となる道路や広域幹線道路を位置づけ

出典:板橋区都市計画情報マップ





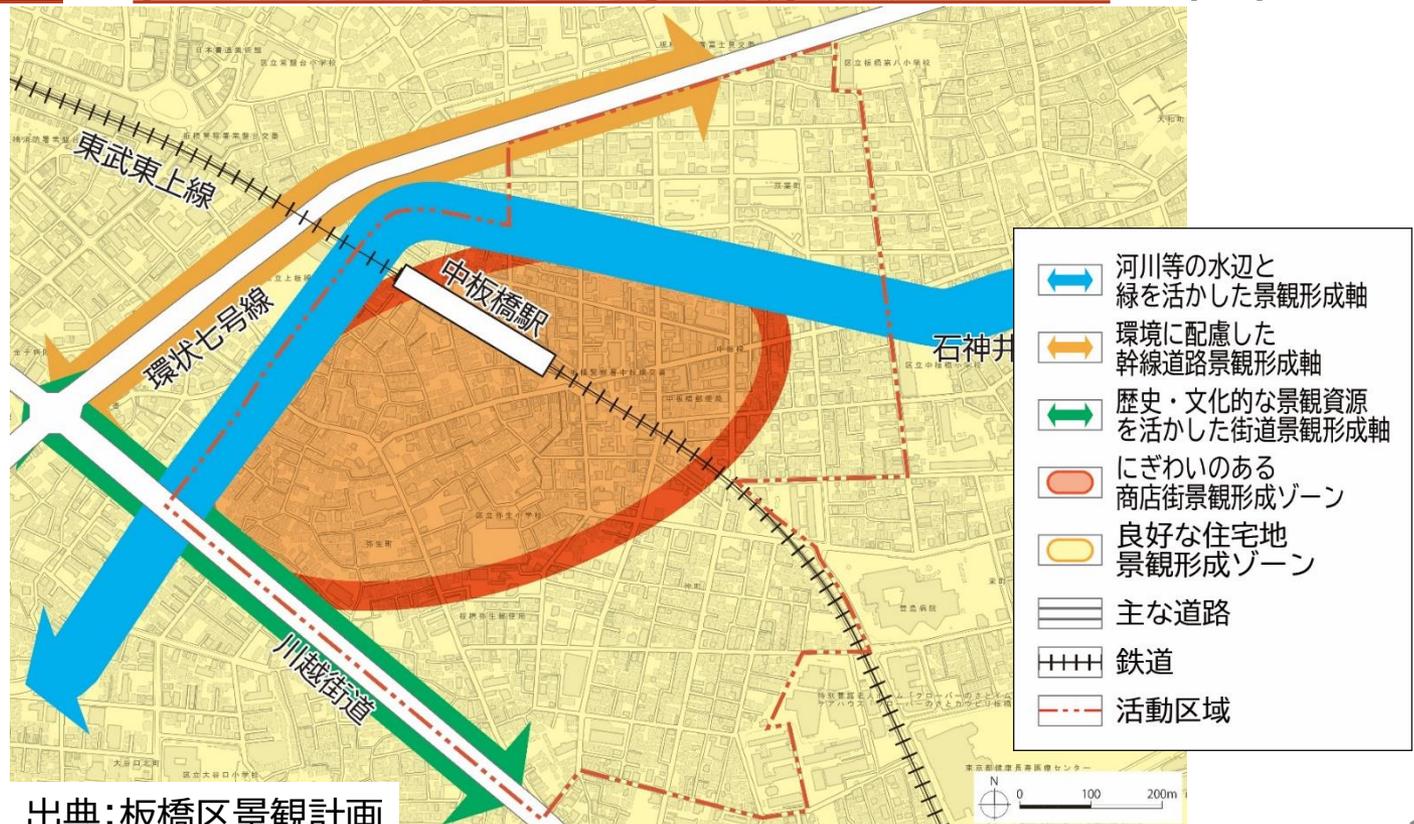
2 都市計画等

(3) 景観計画

- ✓ 石神井川を景観形成軸、環七を幹線道路景観形成軸、川越街道を街道景観形成軸、駅周辺を商店街景観形成ゾーン、住宅地を住宅地景観形成ゾーンに位置づけ

景観計画とは：

景観法に基づく「良好な景観の形成に関する計画」のこと。



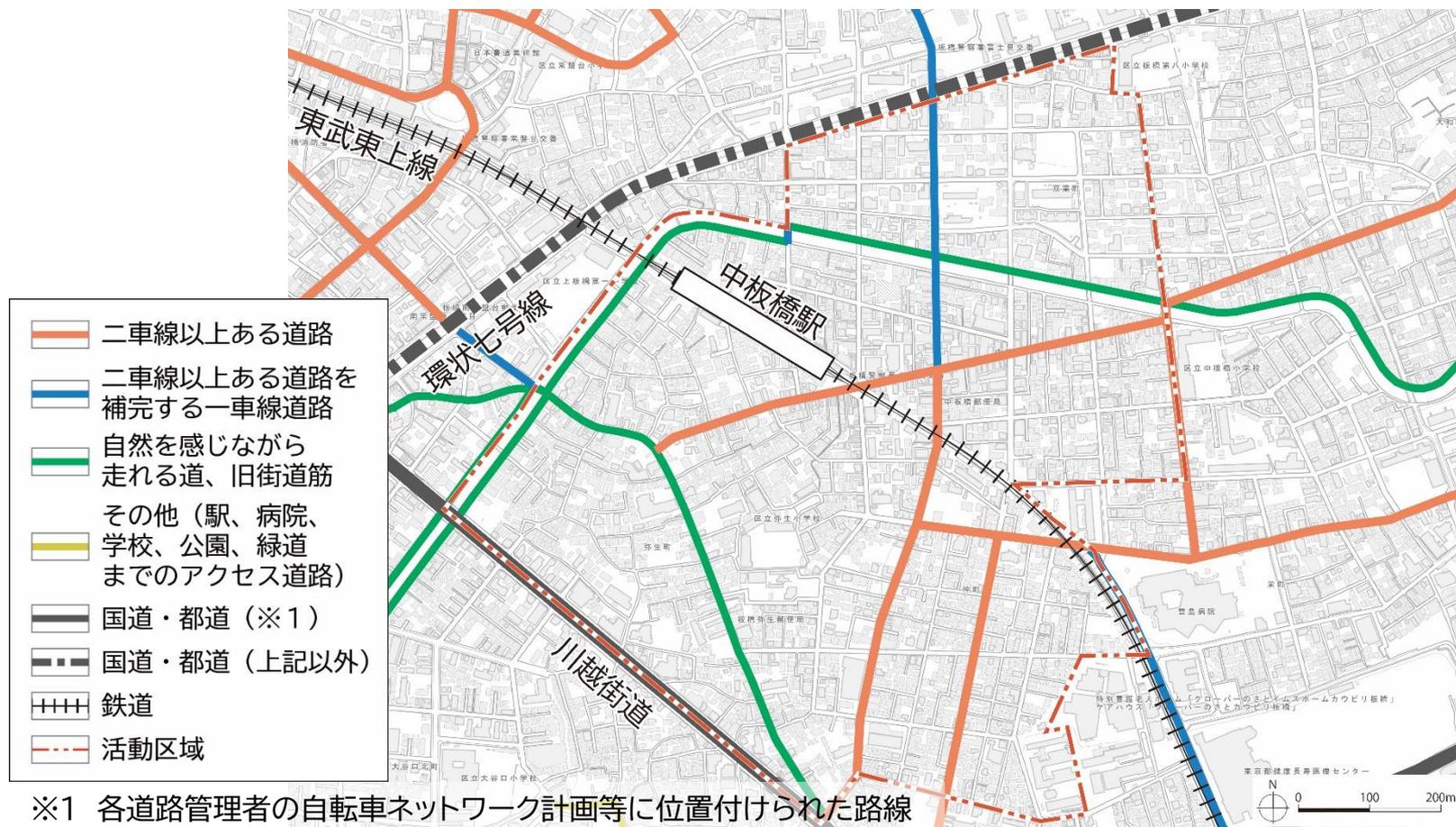


2 都市計画等

(4) 自転車ネットワーク

- ✓ 6つの指標（二車線以上ある道路等）に基づき**自転車ネットワーク路線を設定**

出典：板橋区自転車活用推進計画



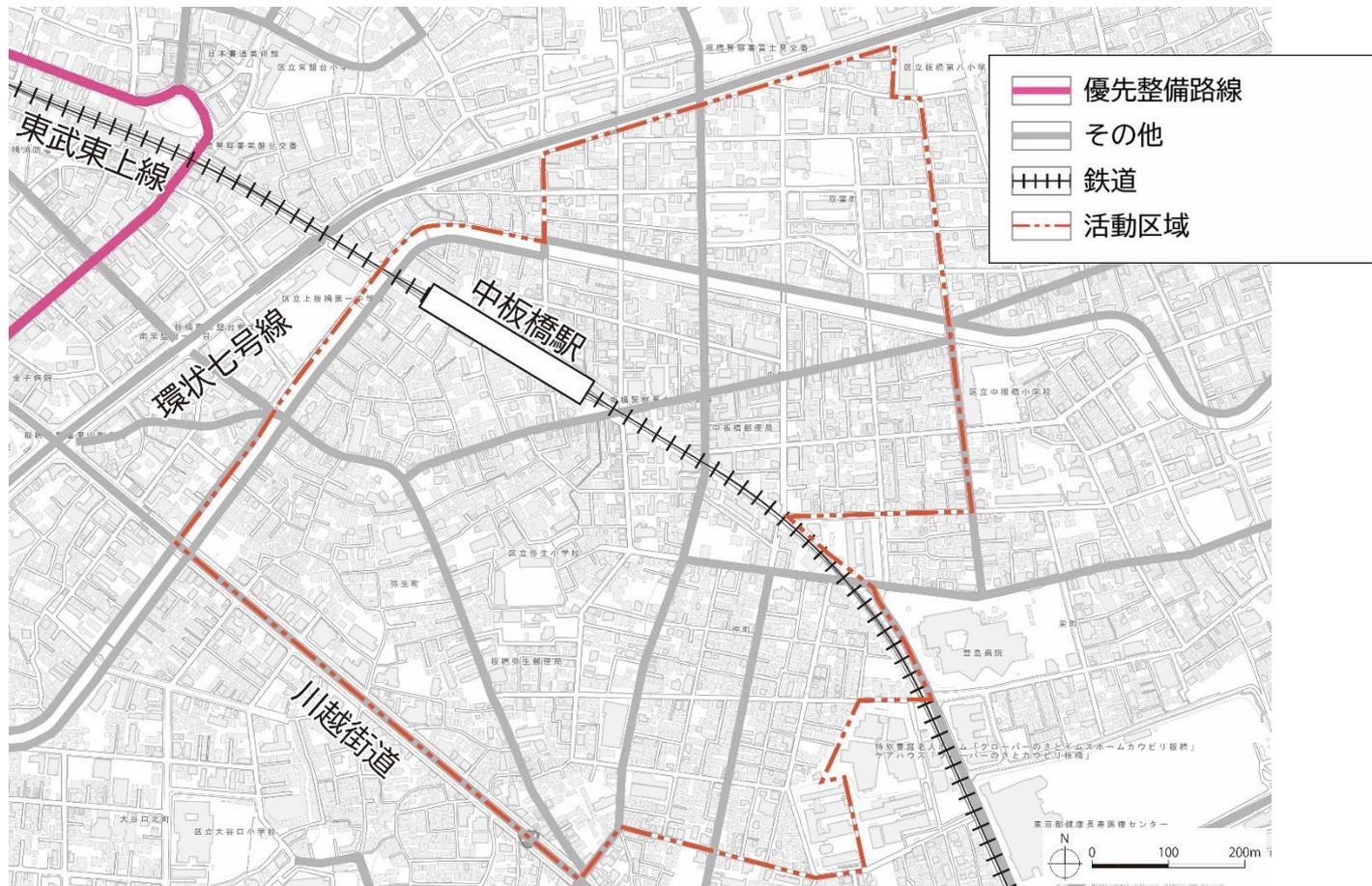


2 都市計画等

(4) 自転車ネットワーク

- ✓ 特に整備効果を早期に発現させる必要が高い路線を「優先整備路線」として選定

出典:板橋区自転車活用推進計画





2 都市計画等

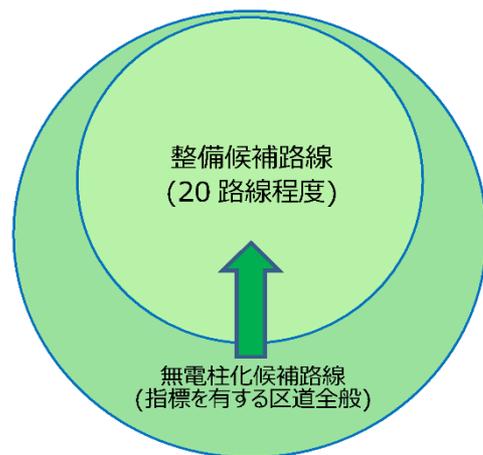
(5) 無電柱化

✓ 基本方針④

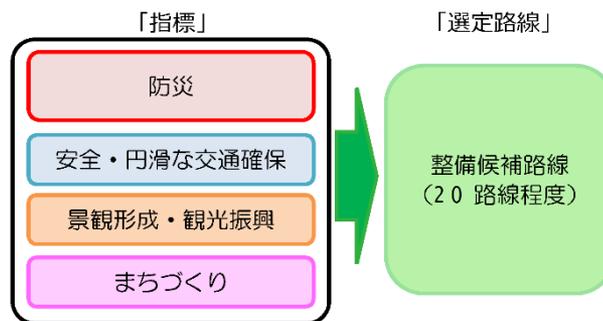
まちづくり事業と一体的に無電柱化整備を推進する

✓ 基本方針を踏まえて無電柱化候補路線に対して評価指標の設定・点数付けを行い、整備候補路線を選定

- ・ 無電柱化候補路線：整備路線を決定するための要素となる指標を有する区道
- ・ 整備候補路線：無電柱化候補路線から指標による点数付けをし、高得点にて抽出された路線



路線選定の構成



評価指標の分類



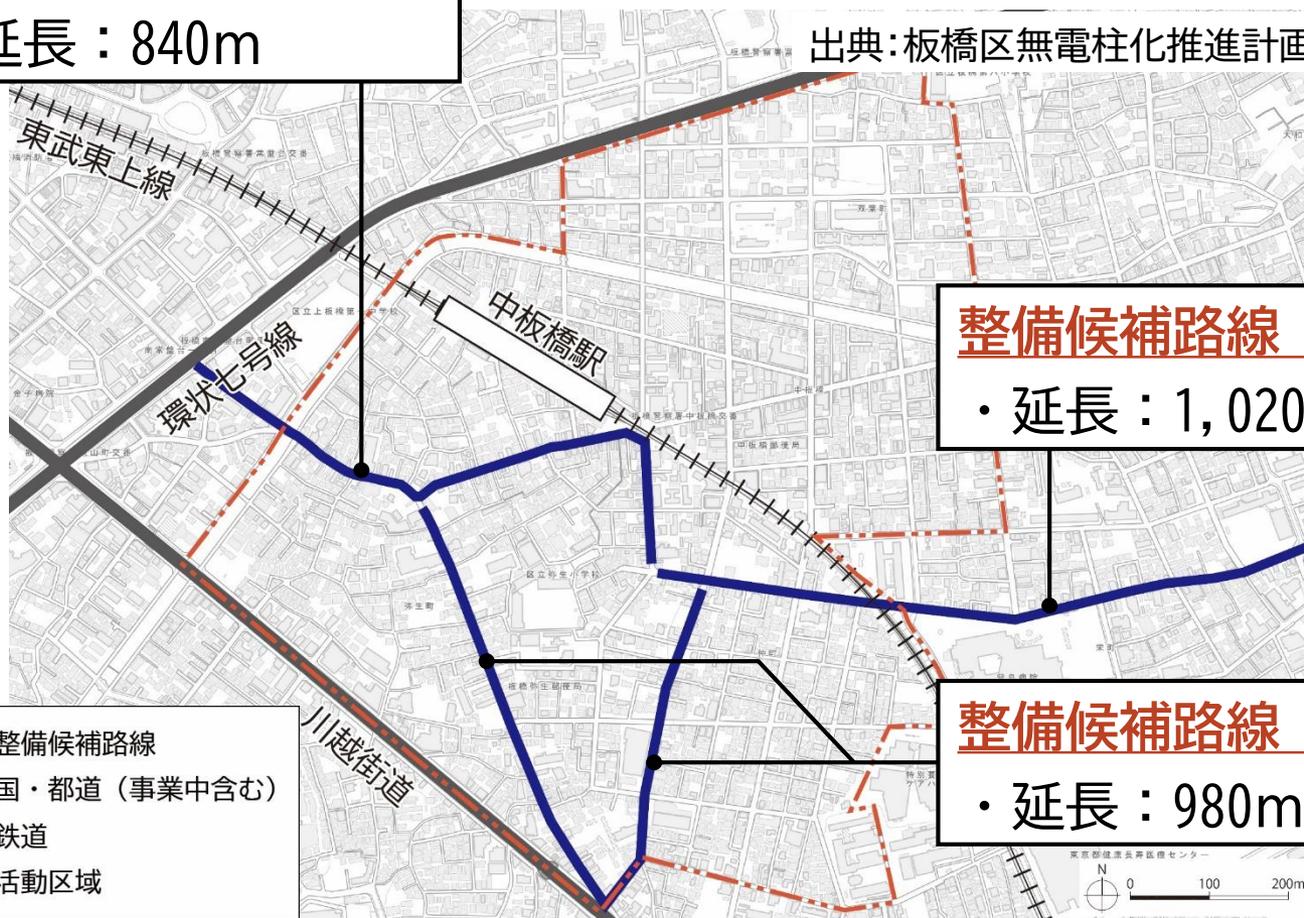
2 都市計画等

(5) 無電柱化

整備候補路線 路線⑪

・延長：840m

出典：板橋区無電柱化推進計画2025



整備候補路線 路線⑬

・延長：1,020m

整備候補路線 路線⑫

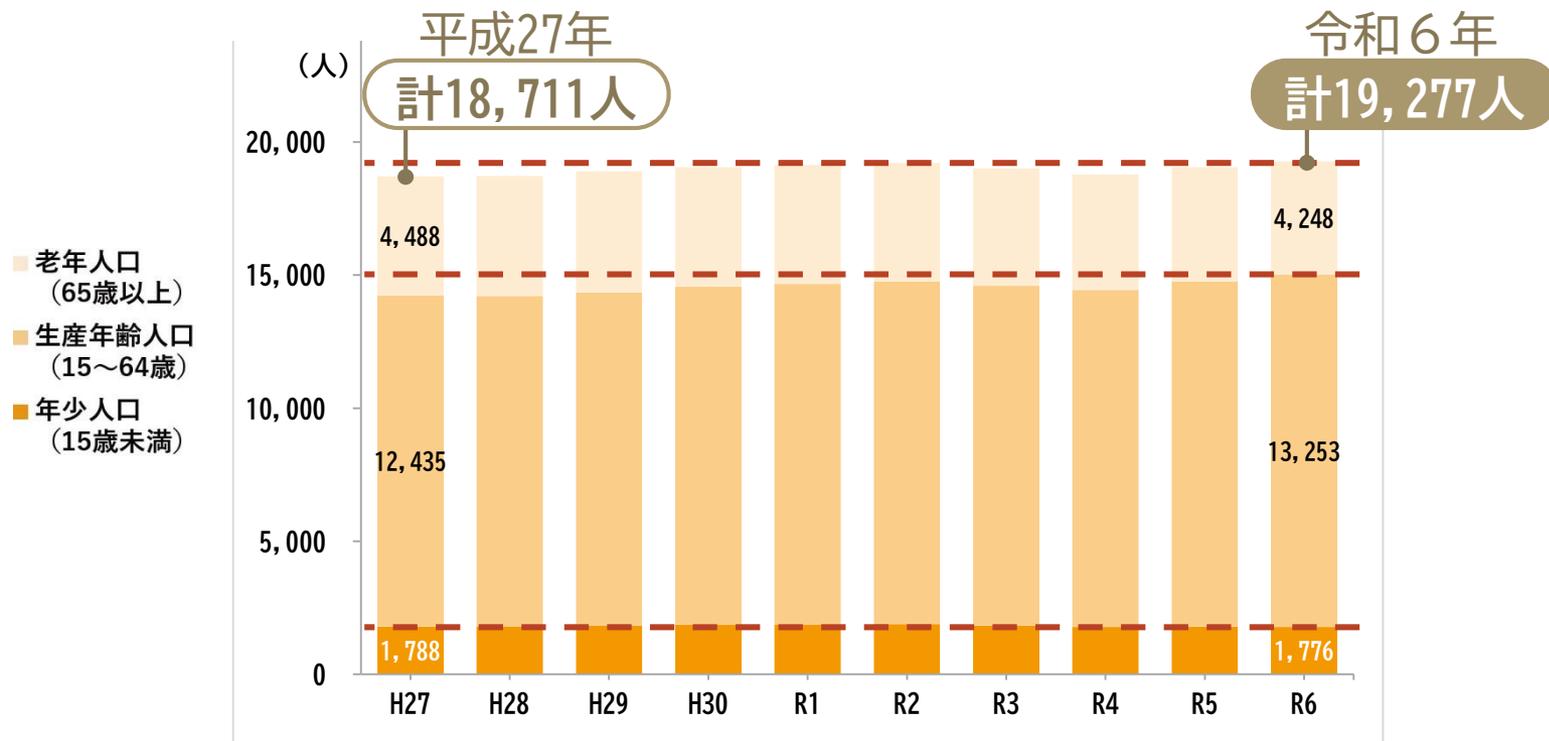
・延長：980m



3 人口・世帯数

(1) 人口推移

- ✓ 令和6年の人口は約1万9,000人で、平成27年からの10年間で約600人増加で概ね横ばい
- ✓ 老年人口は減少、生産年齢人口は増加傾向



出典：住民基本台帳による町丁目別年齢（5歳階級）別人口を基に作成

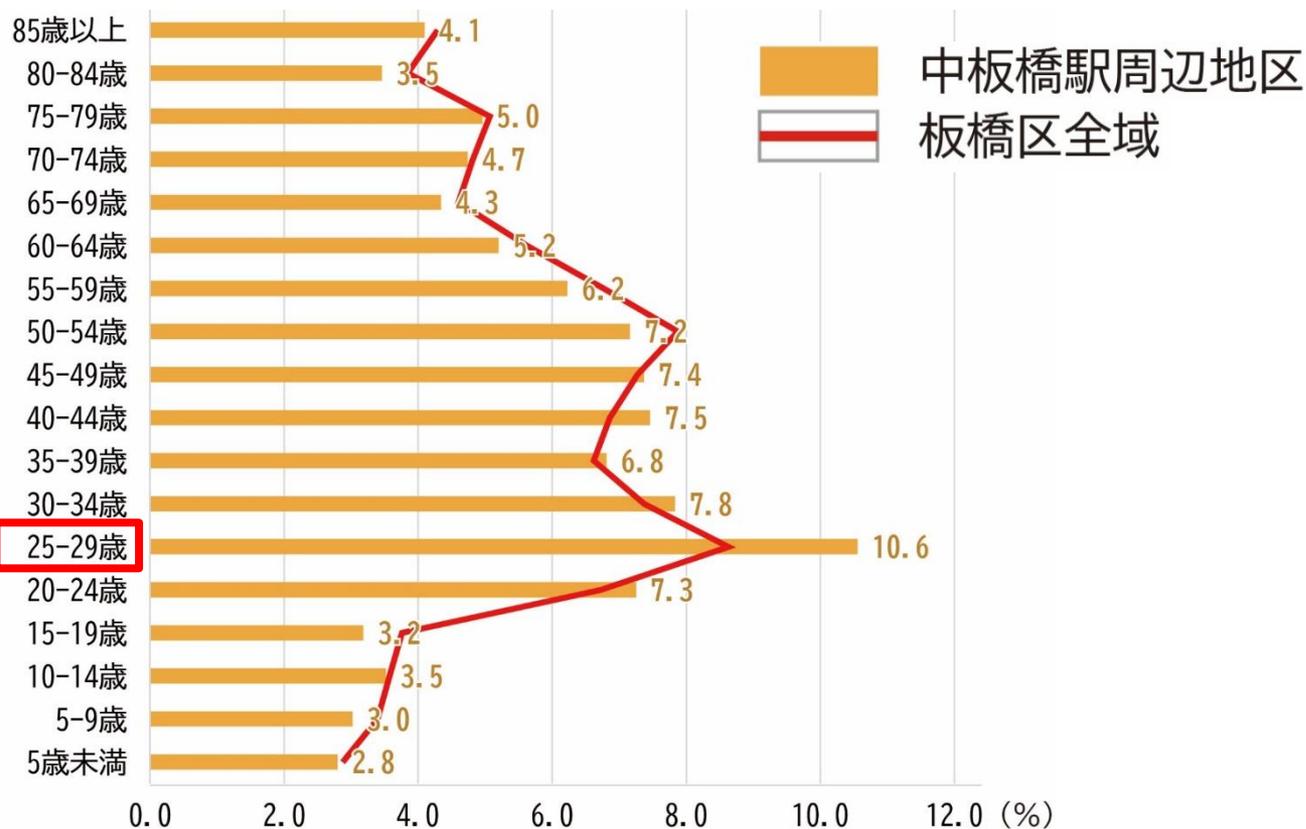
2 中板橋駅周辺の年齢別人口割合



3 人口・世帯数

(2) 年齢別人口割合

- ✓ 板橋区全域と比較して、25～29歳の人口割合が非常に高い



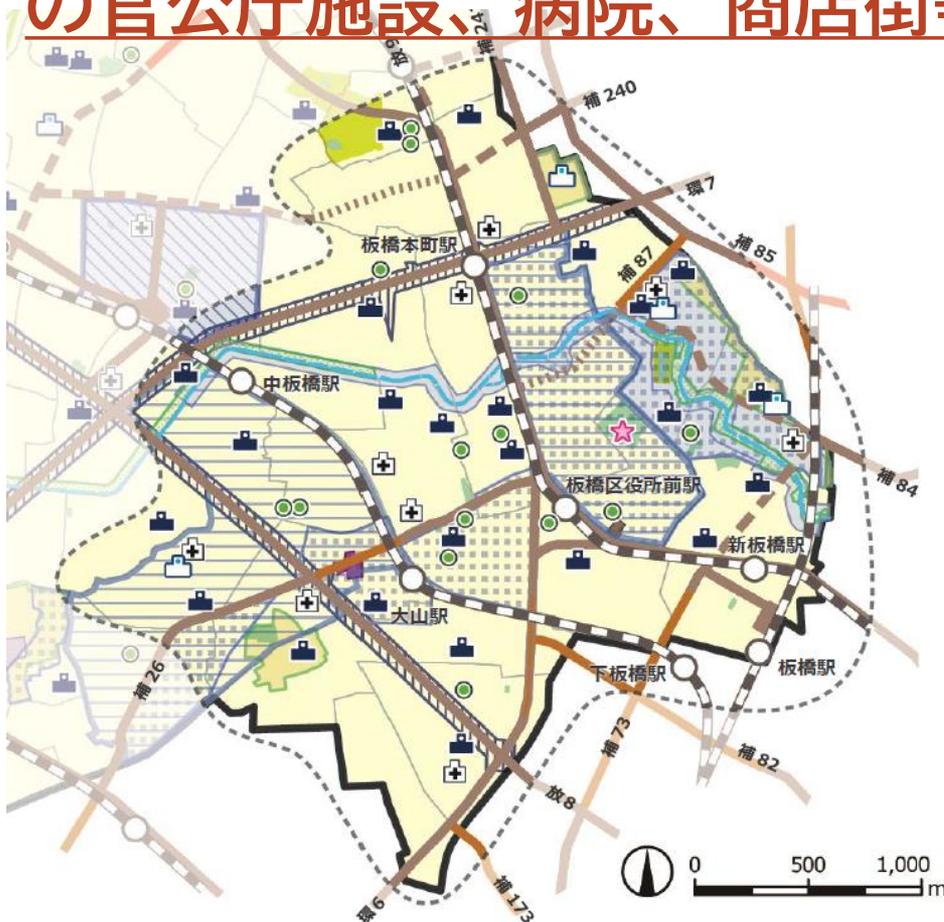
出典：住民基本台帳による町丁目別年齢（5歳階級）別人口を基に作成



4 土地利用

(1) 板橋・大山エリア

- ✓ エリア内には7つの駅が立地しており、**区役所等の官公庁施設、病院、商店街等が集積**



-  エリア区分
-  公共公益施設
-  小中学校
-  大学
-  災害拠点病院等
-  その他の文化施設

出典:都市づくりビジョン

2 地区の現況と特性



4 土地利用

(2) 上板橋・ときわ台エリア

- ✓ 駅を中心に発展した商店街や計画的に整備された住宅地や中小の工場等が立地する **住工が混在する多様な土地利用**





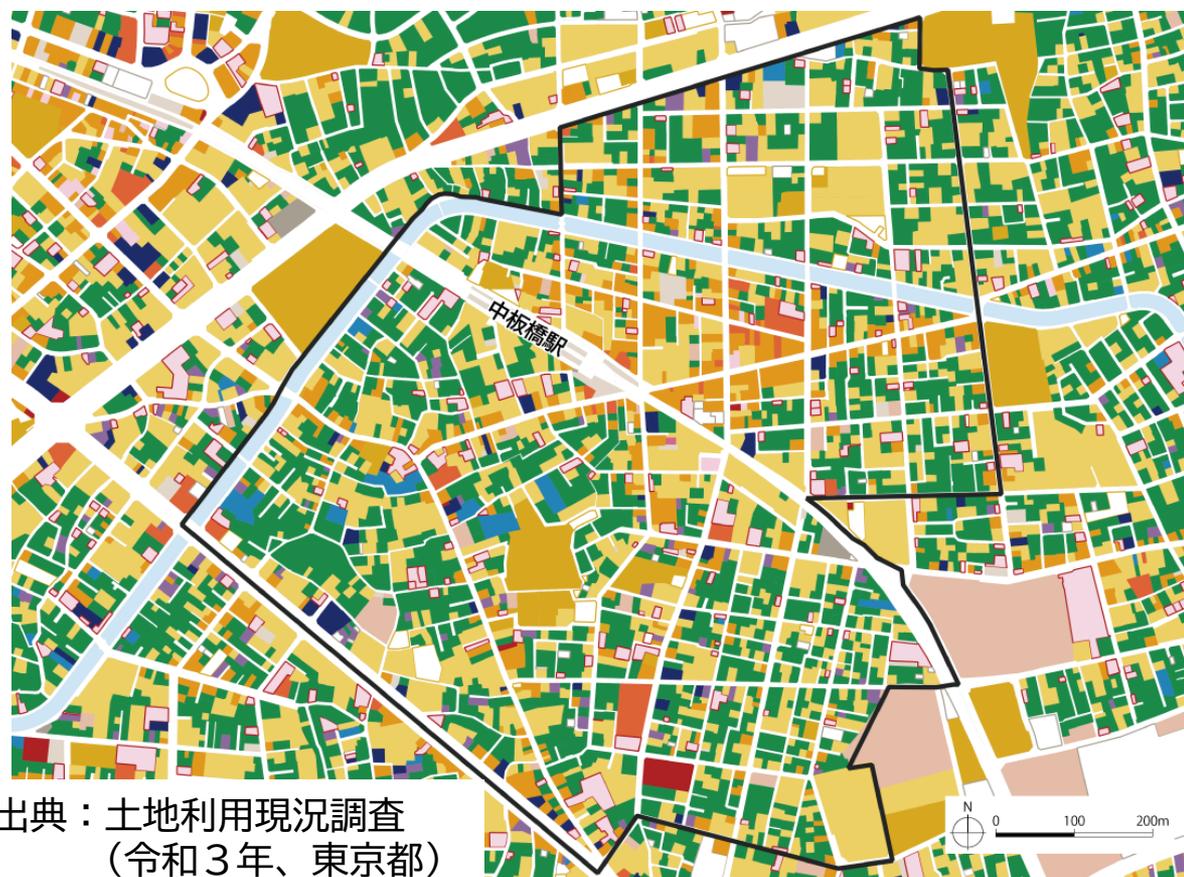
4 土地利用

(3) 土地利用現況

凡例

- 官公庁施設
- 教育文化施設
- 厚生医療施設
- 供給処理施設
- 事務所建築物
- 専用商業施設
- 住商併用建物
- 宿泊・遊興施設
- スポーツ・興行施設
- 独立住宅
- 集合住宅
- 専用工場
- 住居併用工場
- 倉庫運輸関係施設
- 屋外利用地・仮設建物 太陽光発電
- 屋外利用地・仮設建物 屋外駐車場
- 屋外利用地・仮設建物 その他
- 公園、運動場等 ゴルフ場
- 公園、運動場等 その他
- 未利用地等
- 農林漁業施設
- 畑
- 樹園地
- 水面・河川・水路
- 森林
- 原野
- 道路・鉄道・港湾等・その他

✓ 地区内は住居系が多く、商店街周辺では住商併用が多い



出典：土地利用現況調査
(令和3年、東京都)

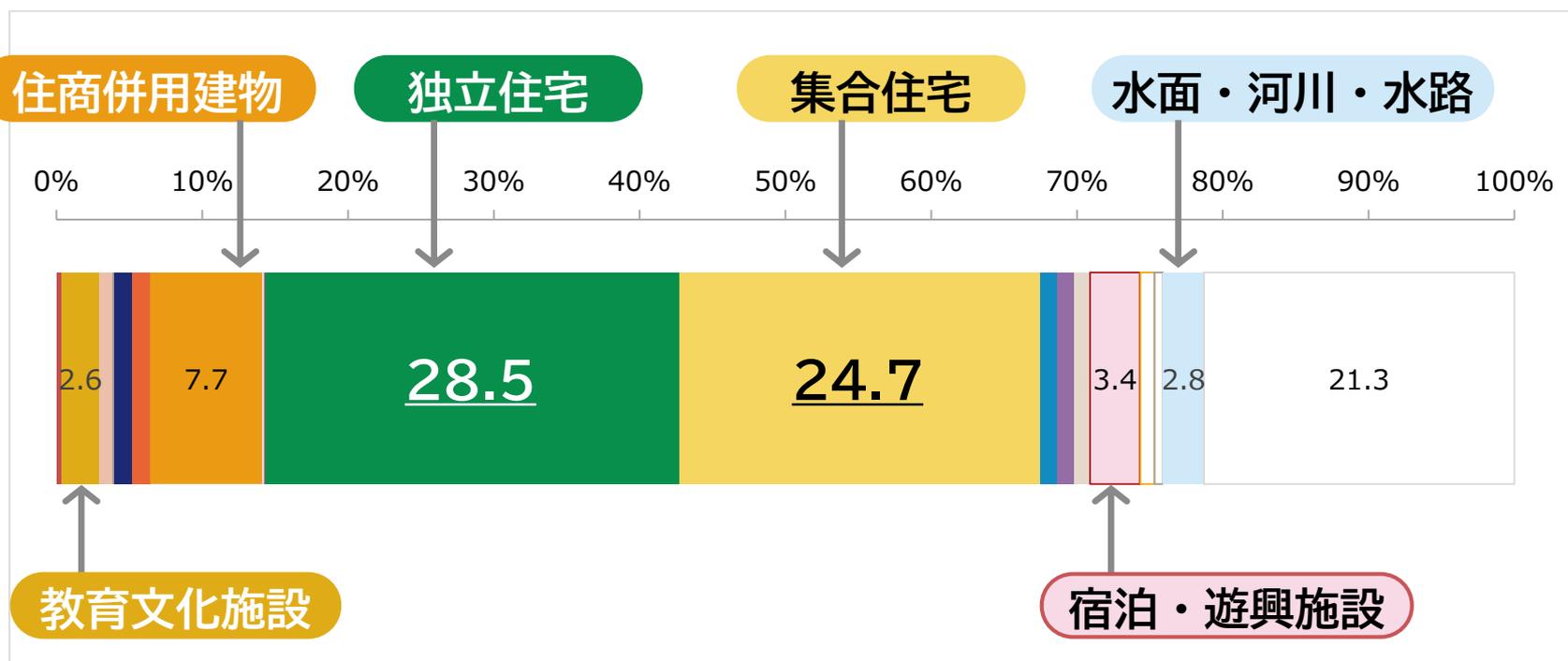
2 地区の現況と特性



4 土地利用

(3) 土地利用構成比

- ✓ 構成比：独立住宅が最も多く、次いで集合住宅、住商併用建物が多い

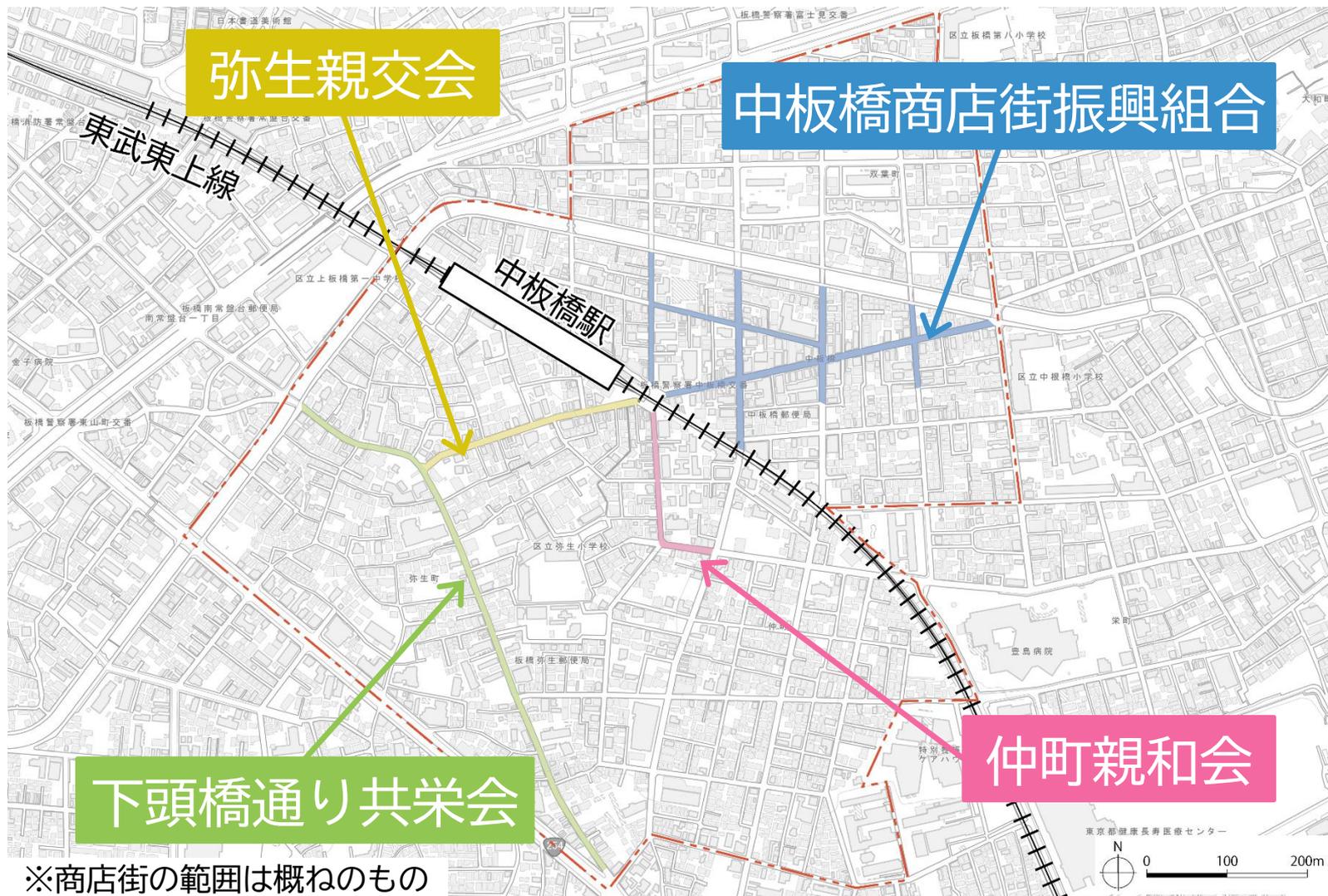


出典：土地利用現況調査（令和3年、東京都）



4 土地利用

(4) 商店街



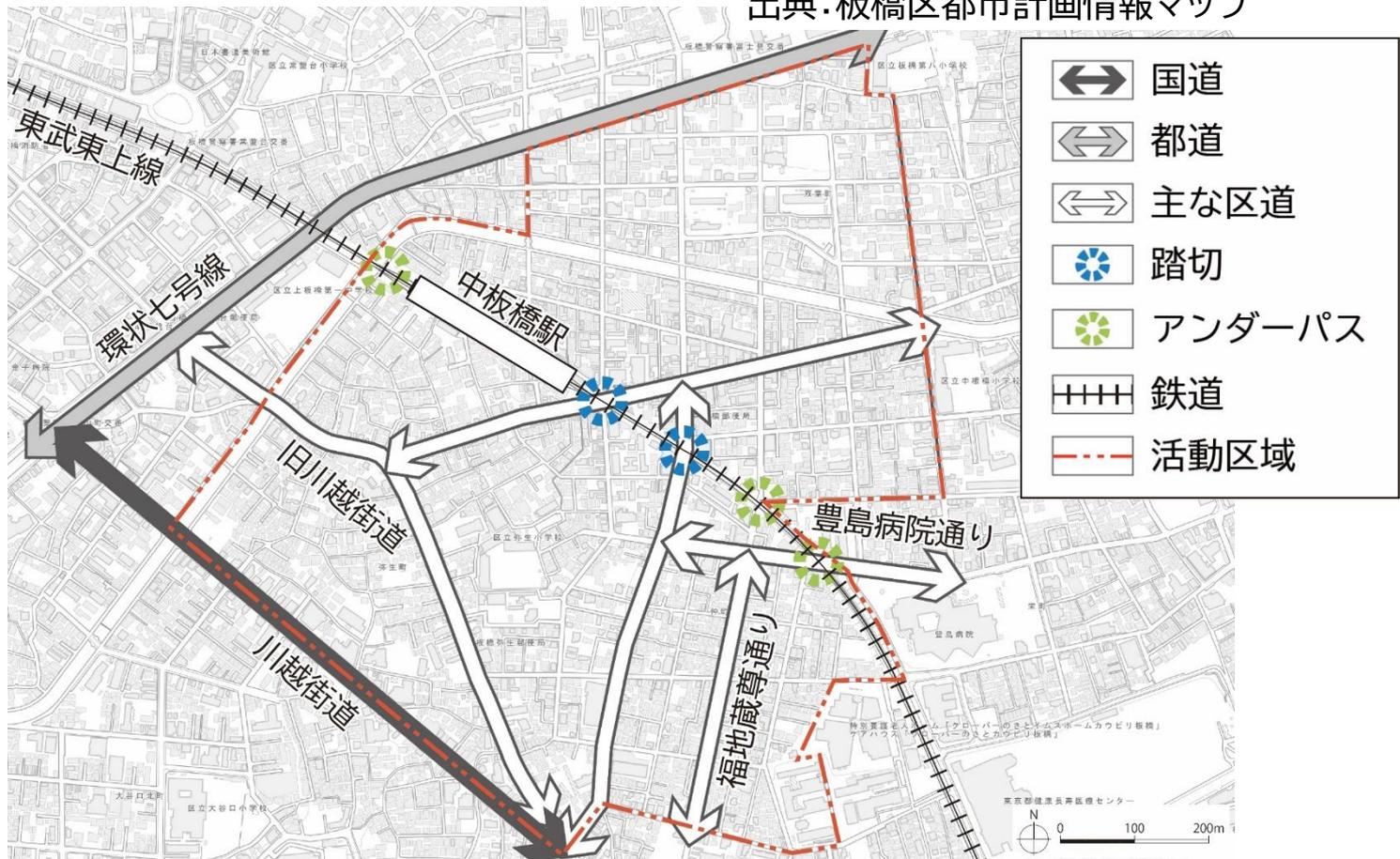


5 道路・交通

(1) 道路網

- ✓ 幹線道路等により骨格となる道路網が形成

出典:板橋区都市計画情報マップ



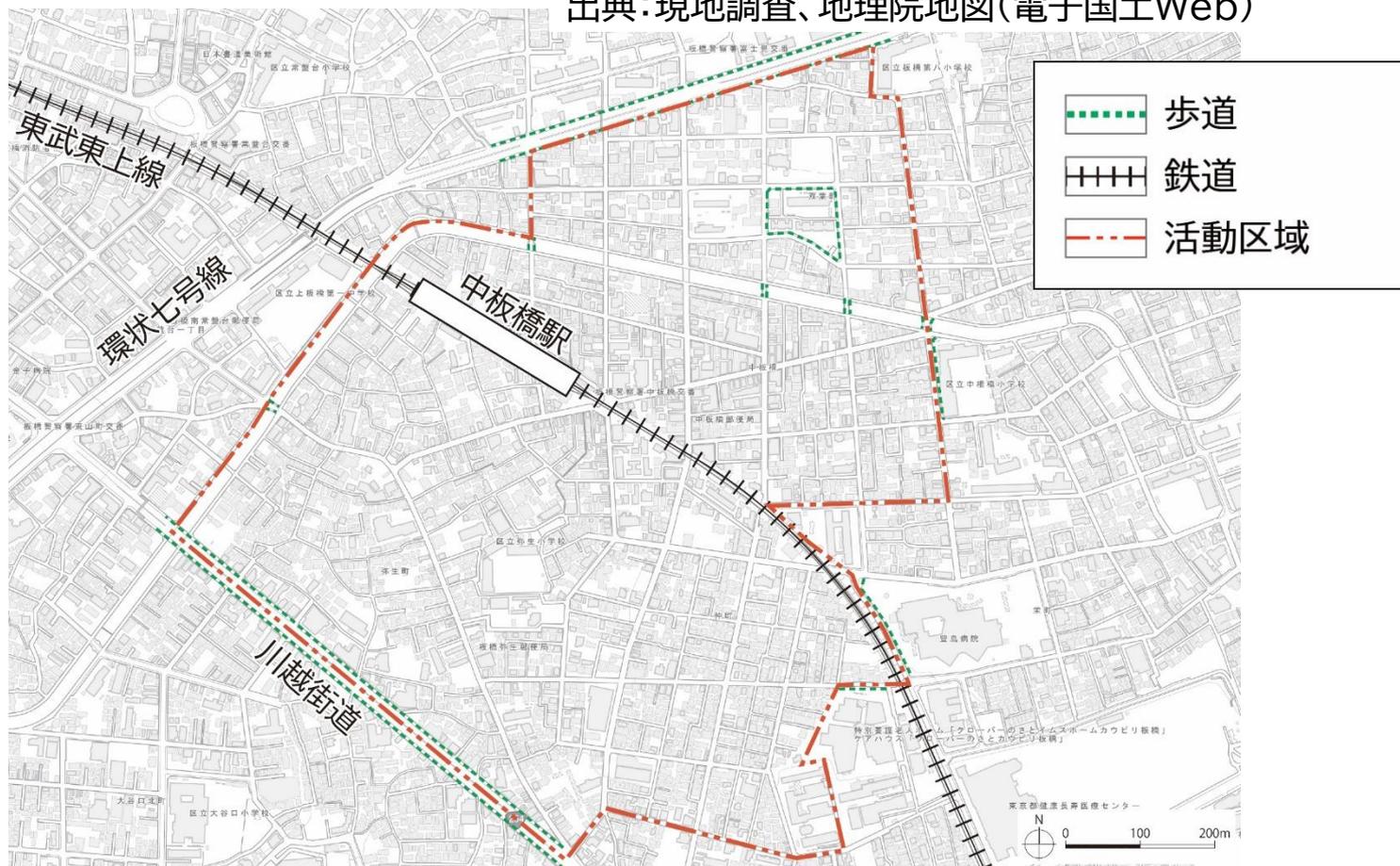


5 道路・交通

(2) 歩道

- ✓ 幹線道路を中心に歩道が整備

出典：現地調査、地理院地図(電子国土Web)

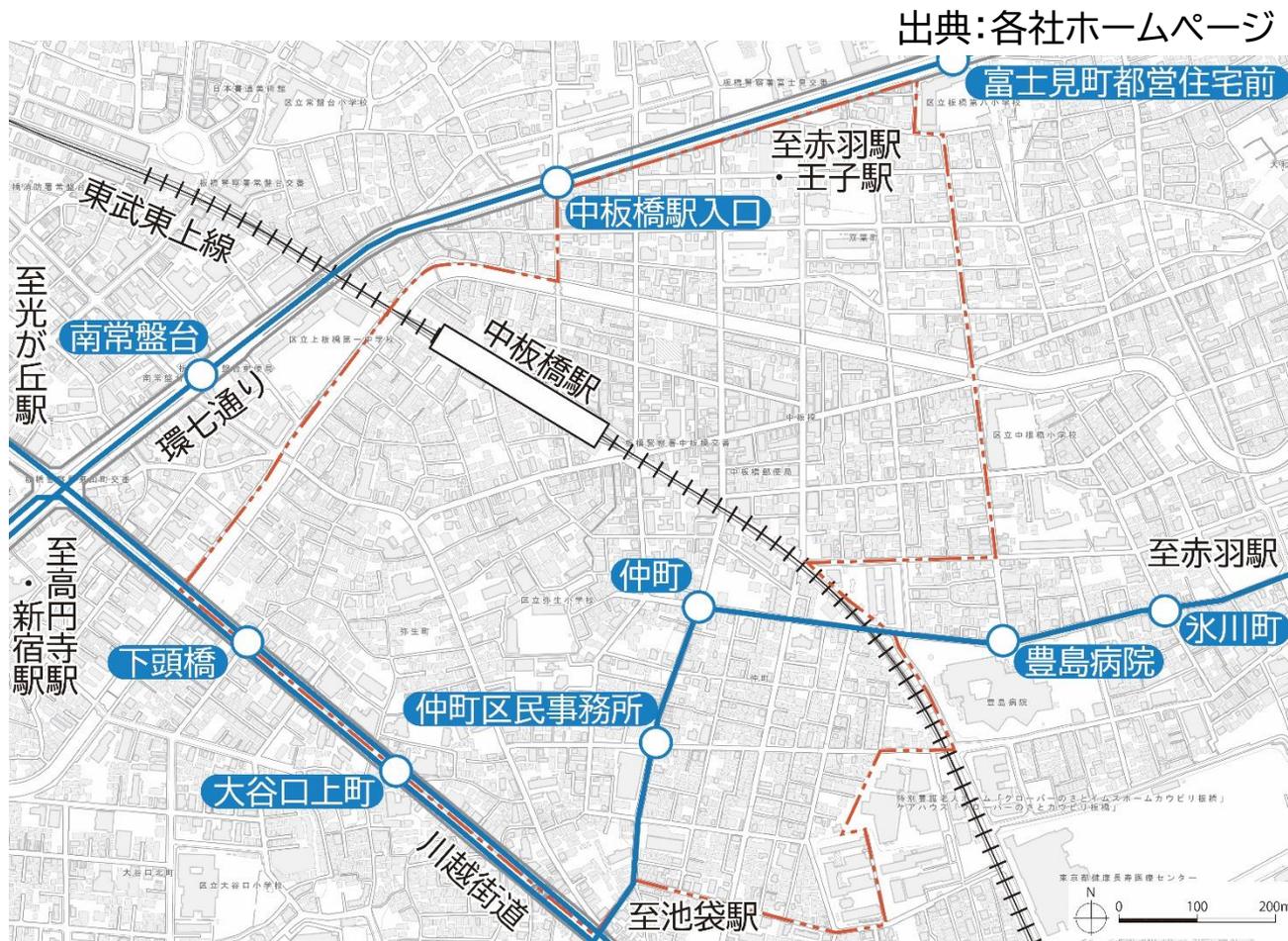




5 道路・交通

(3) バス路線網

- ✓ 幹線道路を中心にバス路線網を形成

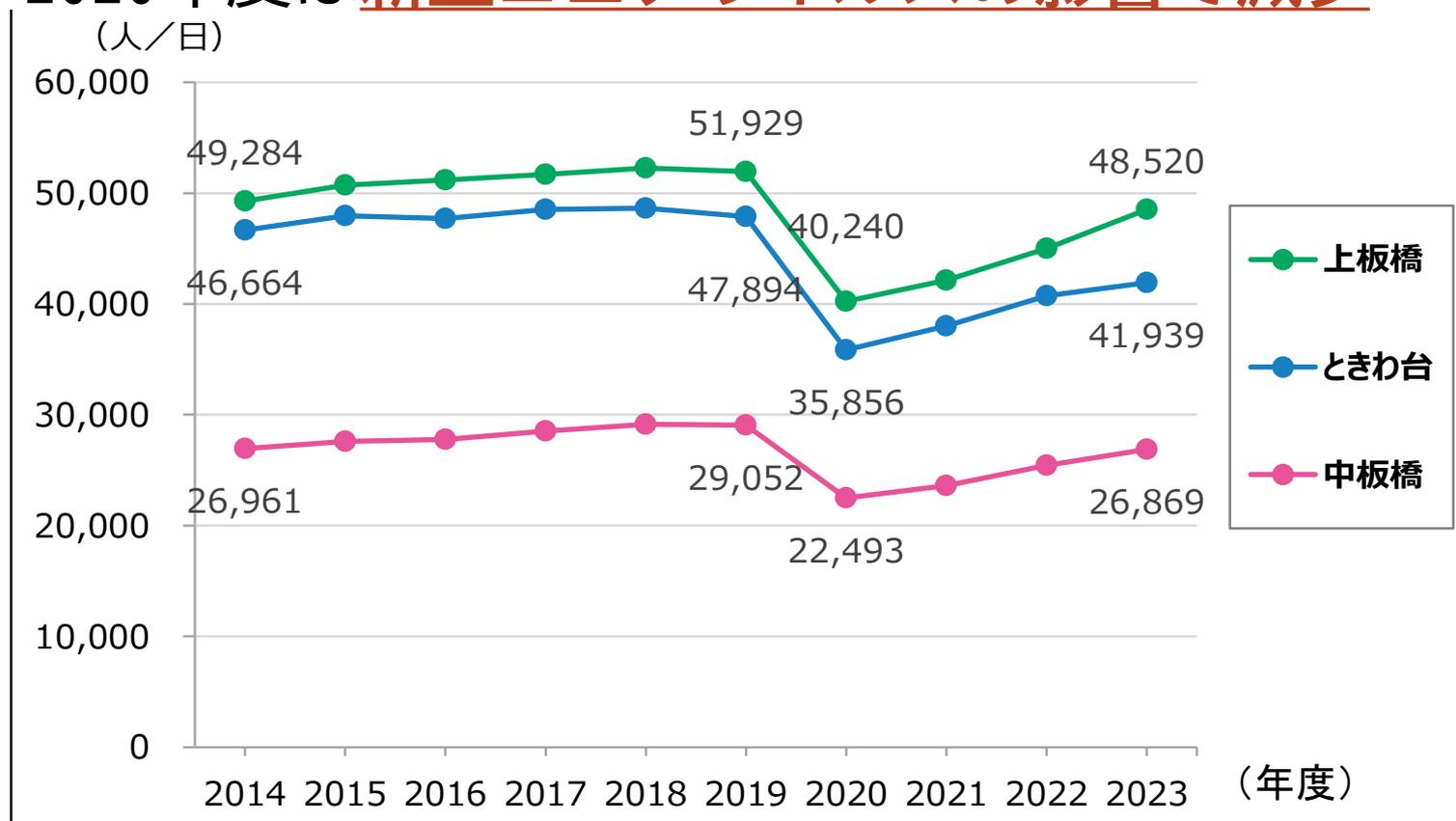




5 道路・交通

(4) 駅の乗降客数

- ✓ 乗降客数の推移は近隣駅とほぼ同様
- ✓ 2020年度は新型コロナウイルスの影響で減少



出典：東武鉄道(株)ホームページ

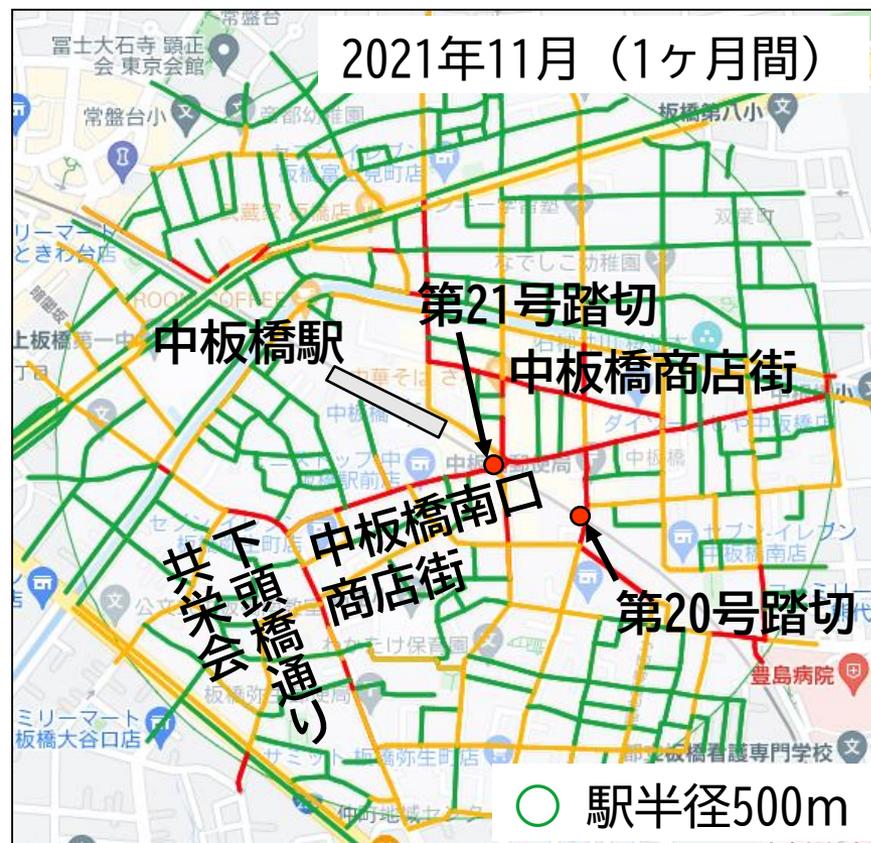
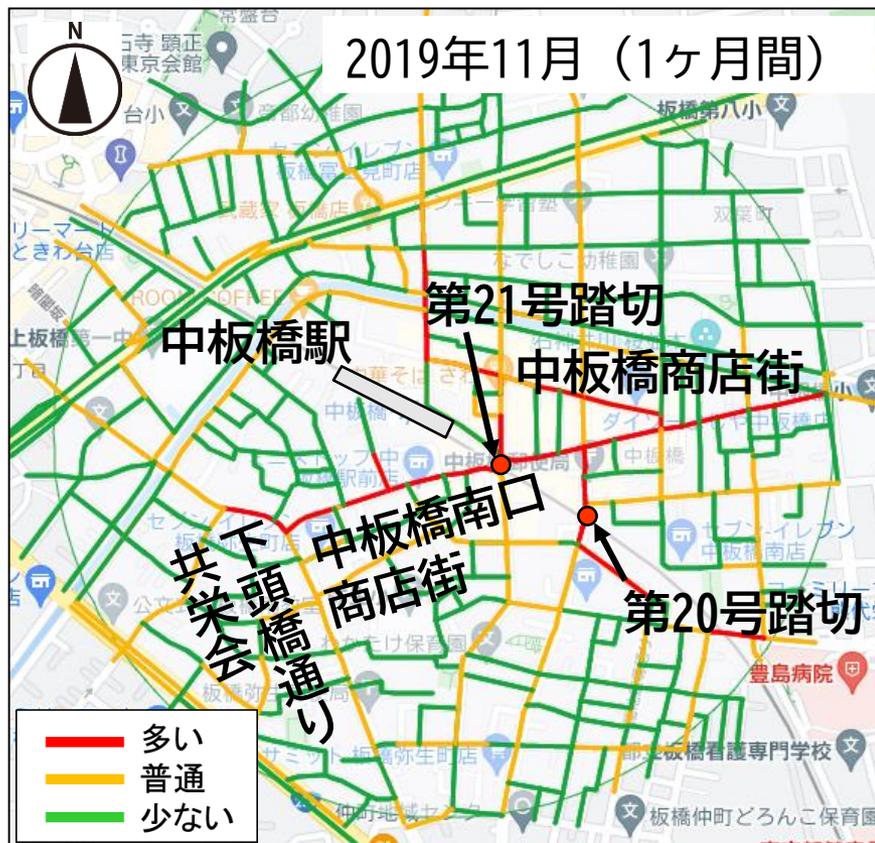
2 地区の現況と特性



5 道路・交通

(5) 人流状況

- ✓ 北口、南口ともに商店街の歩行者量が多い
- ✓ 第20号、第21号踏切に歩行者通行が集中

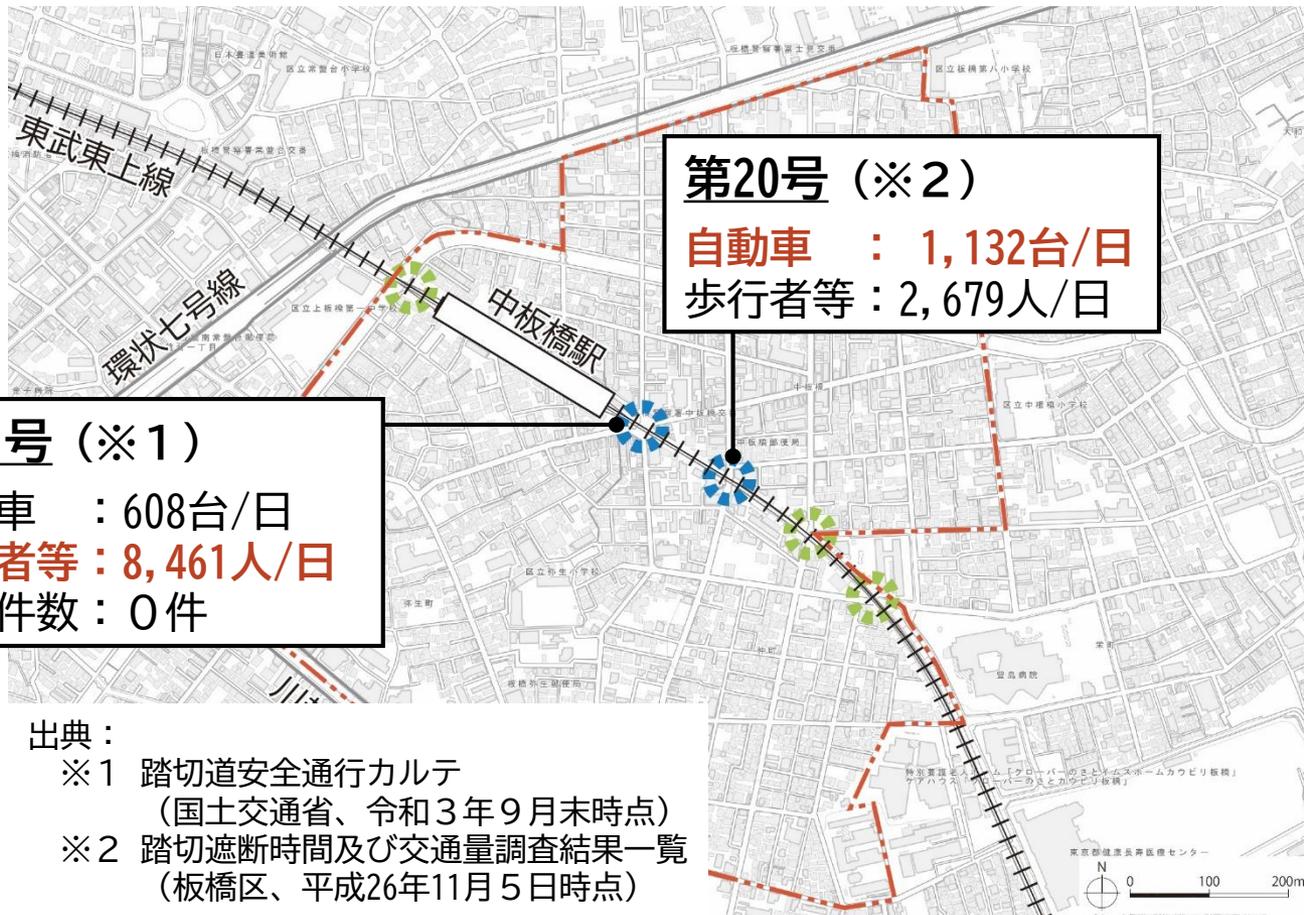




5 道路・交通

(6) 踏切

✓ 第21号踏切は、一日あたり、約8,500人が通行





6 公園・緑地

- ✓ 地区内に多数の公園が立地
- ✓ **石神井川の桜並木は板橋十景※に選定**

板橋十景：

平成15年2月に、区民の皆様から“板橋らしさ”を感じさせる心に残る風景や風物、感動や安らぎを与えるものを募集し、区民公募の委員、有識者などで構成した「板橋十景選定委員会」で選定されたもの。
(出典：板橋区ホームページ)

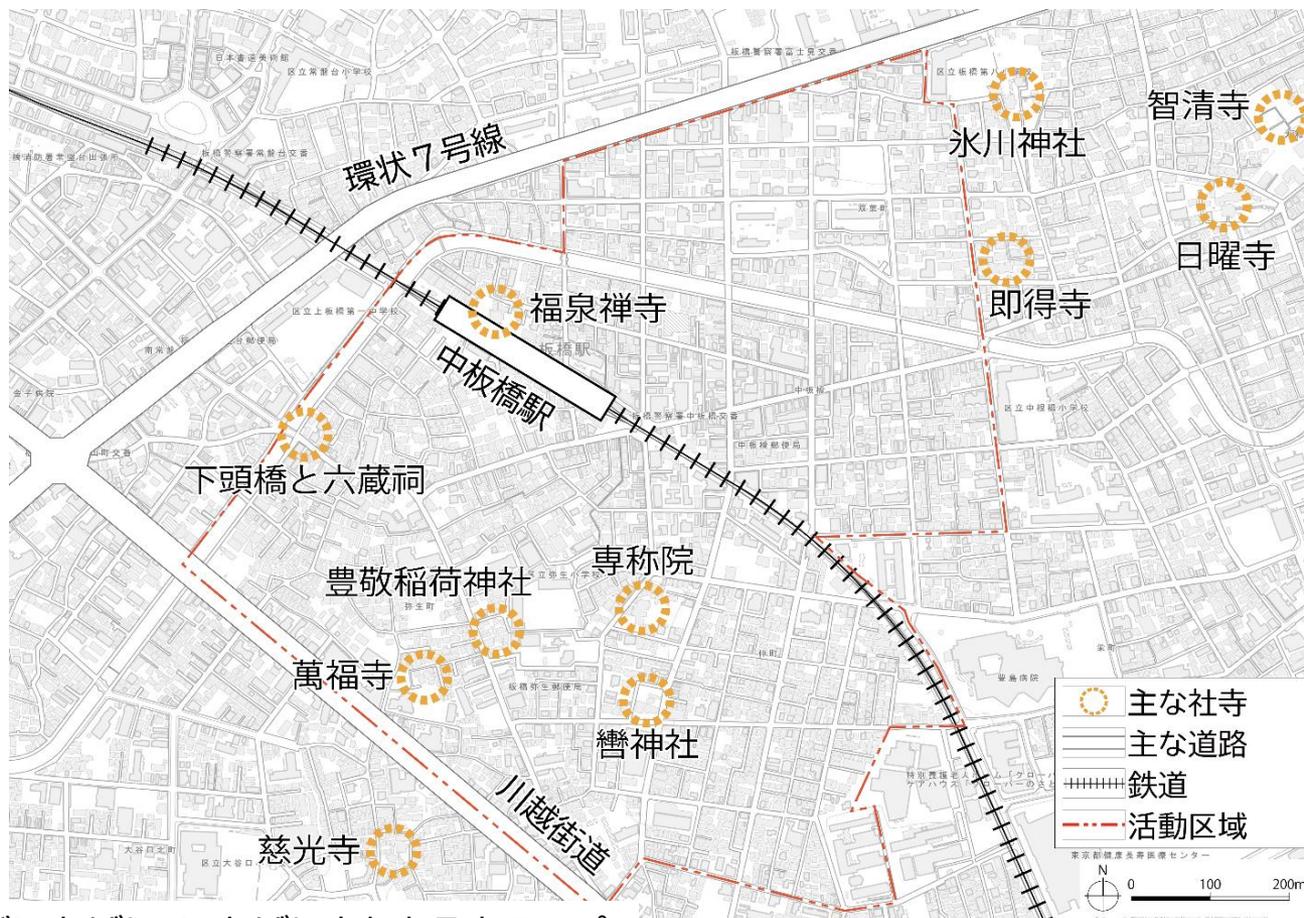


出典：都市公園等一覧表(板橋区)



7 社寺

✓ 地区内に多数の社寺が存在

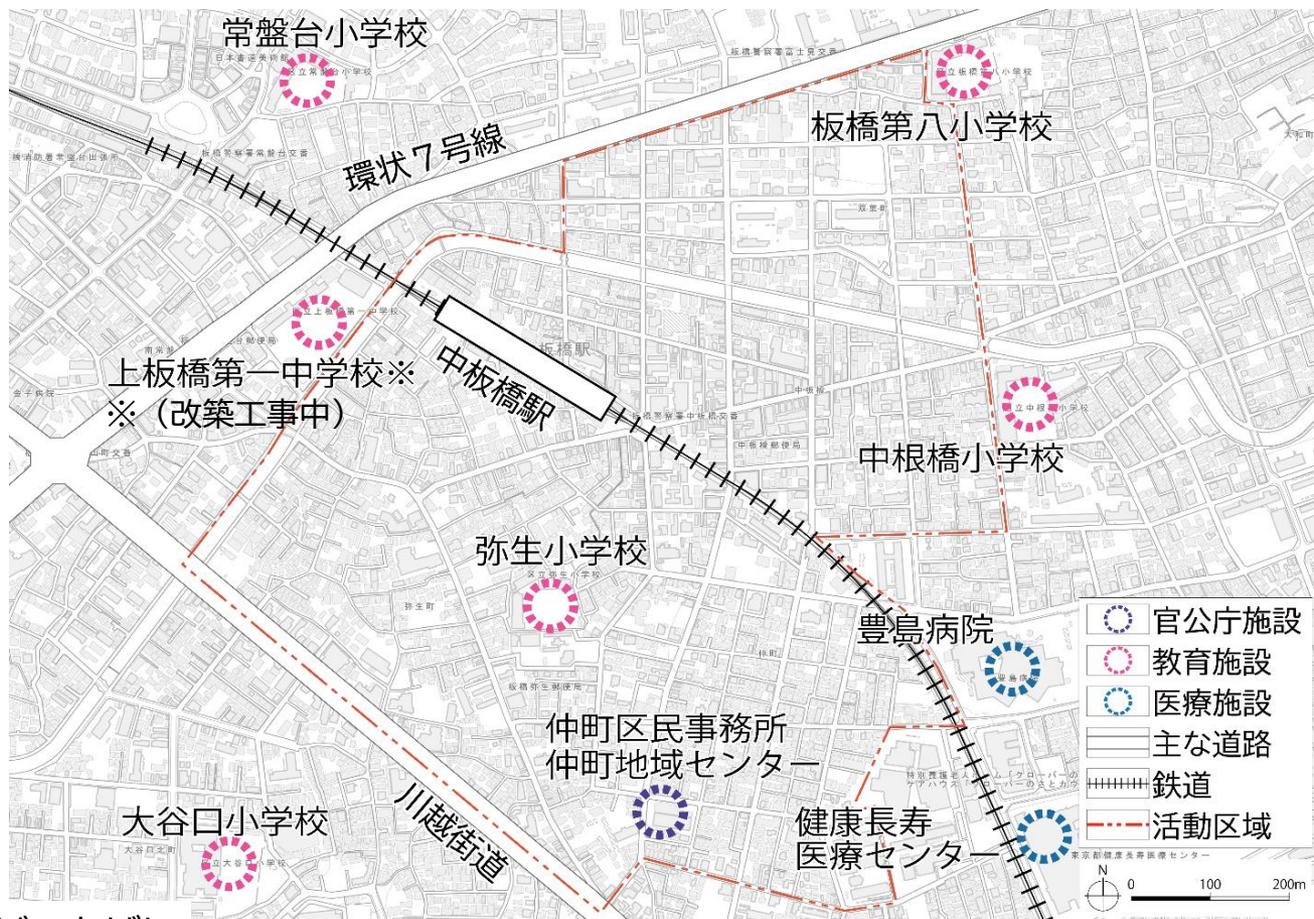


出典: どこナビいたばし、いたばしまちあるきマップ



8 公共公益施設

- ✓ 地区内に小学校、地域センター（区民事務所）が立地





9 防災

- ✓ 弥生小が避難所に、仲町地域センター、東京土建板橋支部が帰宅困難者向け一時滞在施設に指定

